

## 神戸市六甲山地におけるヤマアジサイの分布と多様性

緑環境景観マネジメント研究科 田淵 美也子

### キーワード

六甲山地、環境保全、希少種、遺伝的多様性、園芸利用

### 研究概要

神戸市北部に位置する六甲山には、ヤマアジサイのほか、コアジサイやコガクウツギなどのアジサイ属の原種自生が多くみられ。中でもヤマアジサイは遺伝的多様性が高く、地域性や個体の変異が多くみられます。園芸的には、装飾花の八重咲きおよび覆輪の特性を有する品種が人気が高く、品種改良の元親などとしての資源価値があります。しかし現在六甲山地では自生地の確認もあまりされていないため、地元の情報を基に、ヤマアジサイの自生地を確認し、地域個体の分布および形質的な多様性を把握し、希少な変異個体は収集・保存をすることを目的とし調査しています。優良な形質は新品種作出の可能性を秘めており、また、これらの自生種を保全するための環境条件などの指針作りも目指しています。



### アピールポイント

アジサイは、江戸時代にシーボルトが持ち帰り、欧州人を驚愕させ、今やの多くの品種が世界中で作出されていますが、もとは日本原産のガクアジサイ、ヤマアジサイ、ヒメアジサイが主体となっています。中でも西日本産のヤマアジサイは美しい有色のものが多く、変異も多様です。自生地の稀少な形質を見出し、自生種の保存とともに新しい日本作出の品種に期待したいです。

### 応用分野

ヤマアジサイだけでなく、他のアジサイ属にも注目し、現在のバイオテクノロジーなどで、まだ作出されていない黄色のアジサイや、青のつるアジサイなどを育種する可能性があります。